

アウトソーシング推進実行計画の追補について

《趣旨》

平成19年2月の改訂において平成19年度中の検討課題とした次の2点について、県の方針を確定させて計画に書き込む。

「現業的業務」に関する追補

《追補の新旧対照表》

新			旧		
現業的業務			現業的業務		
業務名	検討内容	部局名	業務名	検討内容	部局名
公用車運転業務	効率的な運転業務体制の確立と、災害等に対する危機管理体制の確立の両立を図るため、平成21年度から、本庁及び各合同庁舎単位に公用車運転手の集中化を進めるとともに、業務見直しによる順次の外部委託等（直接運転、公共機関利用を含む）を推進する。	総務部ほか 関係部局	公用車運転業務	業務の内容、必要性等を十分に精査した上で、平成19年度中を目途に今後の業務運営方法を決定する。	総務部ほか 関係部局
守衛業務	引き続き直営で実施すべき最小限の業務範囲の検討を進め、さらなる効率化を目指す。	総務部	守衛業務		総務部
文書印刷業務	外部委託が可能な業務として具体的な検討を進める。職員の退職等に伴い業務運営上必要であれば嘱託員等により対応する。	総務部	文書印刷業務		総務部
電話交換業務	外部委託が可能な業務として具体的な検討を進める。職員の退職等に伴い業務運営上必要であれば嘱託員等により対応する。	総務部 病院局	電話交換業務		総務部 病院局 警察本部
	秘密の保持等の観点から引き続き直営を基本とするが、より効率的な業務運営を目指し、専任の職員から順次事務職員や嘱託員等による対応に切り替える。	警察本部			

犬捕獲業務	県民生活の安全確保上、昼夜を問わず対応しなければならない業務であり、配置すべき箇所に必要最小限の職員を確保する。	保健福祉部
ボイラー管理業務	外部委託が可能な業務として、段階的に進める。	保健福祉部 農林水産部 病院局 教育庁
調理給食業務	外部委託が可能な業務として、段階的に進める。	保健福祉部 病院局 教育庁
動物管理・農場管理業務	研究業務と密接な一定の業務について、必要最小限の人員配置として直営を継続しながら、臨時職員等を含めた外部資源の活用を進め、より効率的な業務運営体制の確立を目指す。	農林水産部
道路維持管理業務	外部委託が可能な業務として、段階的に進める。	土木部
荷役業務	段階的に荷役機械の使用許可による運営（運転業務のみ）を進めていく。	土木部
看護補助業務	職員の退職等に伴い、業務運営上で必要であれば、臨時職員等で対応する。	病院局
薬局・検査補助業務	職員の退職等に伴い、業務運営上で必要であれば、臨時職員等で対応する。	病院局
用務員（庁務員）業務	職員の退職等に伴い、業務運営上で必要であれば、嘱託員等で対応する。	教育庁 警察本部
その他	前記の基本的方向(1)・(2)の取組みに基づき、継続的に業務掘り起こし・領域拡大を行う。	各 部 局

犬捕獲業務		保健福祉部
ボイラー管理業務		保健福祉部 農林水産部 病院局 教育庁
調理給食業務		保健福祉部 病院局 教育庁
動物管理・農場管理業務		農林水産部
道路維持管理業務		土木部
荷役業務		土木部
看護補助業務		病院局
薬局・検査補助業務		病院局
用務員（庁務員）業務		教育庁 警察本部
その他	前記の基本的方向(1)・(2)の取組みに基づき、継続的に業務掘り起こし・領域拡大を行う。	各 部 局

「市場化テスト」に関する追補

《追補の新旧対照表》

新	旧						
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="183 386 936 810"> <p>福島県版市場化テスト</p> <p>定型的業務や現業的業務等のアウトソーシングに優先して取り組みながら、さらに各種業務のアウトソーシングを推進するための方法として、「福島県版市場化テスト」(本県としての官民競争入札制度)について、平成18年5月に成立した「公共サービス改革法(市場化テスト法)」に基づく国等の取組状況も見ながら、平成19年度中を目途に導入の可能性等検討を進める。</p> <p>検討の視点 (略)</p> </td> <td data-bbox="945 386 1093 810"> <p>総務部</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="183 817 1093 1442"> <p>《検討の結果(平成20年3月追補)》</p> <p>次の状況を踏まえ、当面導入はしないこととするが、引き続き研究・情報収集を進める。</p> <p>国の省庁では未実施を含めても50程度、自治体では北海道、東京都、愛知県等で数事例みられるのみであり、必ずしも浸透しているとは言えず、むしろ、本県としては現在のアウトソーシングを確実に進めたほうが効果が高いと見られること。</p> <p>本県は、7つの生活圏ごと地域性・経済性も異なるため、同じ業務であっても、ある地域は民間、ある地域は県直営とまばらになることが容易に想定され、県としての説明責任や効率性の確保に疑問があること。</p> <p>平成19年度に試行した住民提案型アウトソーシングは、方向性として市場化テスト的な展開も視野に入れられる可能性があるため、この実施結果の検証及び発展の方向性の検討を優先させるべきこと。</p> </td> </tr> </table>	<p>福島県版市場化テスト</p> <p>定型的業務や現業的業務等のアウトソーシングに優先して取り組みながら、さらに各種業務のアウトソーシングを推進するための方法として、「福島県版市場化テスト」(本県としての官民競争入札制度)について、平成18年5月に成立した「公共サービス改革法(市場化テスト法)」に基づく国等の取組状況も見ながら、平成19年度中を目途に導入の可能性等検討を進める。</p> <p>検討の視点 (略)</p>	<p>総務部</p>	<p>《検討の結果(平成20年3月追補)》</p> <p>次の状況を踏まえ、当面導入はしないこととするが、引き続き研究・情報収集を進める。</p> <p>国の省庁では未実施を含めても50程度、自治体では北海道、東京都、愛知県等で数事例みられるのみであり、必ずしも浸透しているとは言えず、むしろ、本県としては現在のアウトソーシングを確実に進めたほうが効果が高いと見られること。</p> <p>本県は、7つの生活圏ごと地域性・経済性も異なるため、同じ業務であっても、ある地域は民間、ある地域は県直営とまばらになることが容易に想定され、県としての説明責任や効率性の確保に疑問があること。</p> <p>平成19年度に試行した住民提案型アウトソーシングは、方向性として市場化テスト的な展開も視野に入れられる可能性があるため、この実施結果の検証及び発展の方向性の検討を優先させるべきこと。</p>		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1155 386 1908 810"> <p>福島県版市場化テスト</p> <p>定型的業務や現業的業務等のアウトソーシングに優先して取り組みながら、さらに各種業務のアウトソーシングを推進するための方法として、「福島県版市場化テスト」(本県としての官民競争入札制度)について、平成18年5月に成立した「公共サービス改革法(市場化テスト法)」に基づく国等の取組状況も見ながら、平成19年度中を目途に導入の可能性等検討を進める。</p> <p>検討の視点 (略)</p> </td> <td data-bbox="1917 386 2065 810"> <p>総務部</p> </td> </tr> </table>	<p>福島県版市場化テスト</p> <p>定型的業務や現業的業務等のアウトソーシングに優先して取り組みながら、さらに各種業務のアウトソーシングを推進するための方法として、「福島県版市場化テスト」(本県としての官民競争入札制度)について、平成18年5月に成立した「公共サービス改革法(市場化テスト法)」に基づく国等の取組状況も見ながら、平成19年度中を目途に導入の可能性等検討を進める。</p> <p>検討の視点 (略)</p>	<p>総務部</p>
<p>福島県版市場化テスト</p> <p>定型的業務や現業的業務等のアウトソーシングに優先して取り組みながら、さらに各種業務のアウトソーシングを推進するための方法として、「福島県版市場化テスト」(本県としての官民競争入札制度)について、平成18年5月に成立した「公共サービス改革法(市場化テスト法)」に基づく国等の取組状況も見ながら、平成19年度中を目途に導入の可能性等検討を進める。</p> <p>検討の視点 (略)</p>	<p>総務部</p>						
<p>《検討の結果(平成20年3月追補)》</p> <p>次の状況を踏まえ、当面導入はしないこととするが、引き続き研究・情報収集を進める。</p> <p>国の省庁では未実施を含めても50程度、自治体では北海道、東京都、愛知県等で数事例みられるのみであり、必ずしも浸透しているとは言えず、むしろ、本県としては現在のアウトソーシングを確実に進めたほうが効果が高いと見られること。</p> <p>本県は、7つの生活圏ごと地域性・経済性も異なるため、同じ業務であっても、ある地域は民間、ある地域は県直営とまばらになることが容易に想定され、県としての説明責任や効率性の確保に疑問があること。</p> <p>平成19年度に試行した住民提案型アウトソーシングは、方向性として市場化テスト的な展開も視野に入れられる可能性があるため、この実施結果の検証及び発展の方向性の検討を優先させるべきこと。</p>							
<p>福島県版市場化テスト</p> <p>定型的業務や現業的業務等のアウトソーシングに優先して取り組みながら、さらに各種業務のアウトソーシングを推進するための方法として、「福島県版市場化テスト」(本県としての官民競争入札制度)について、平成18年5月に成立した「公共サービス改革法(市場化テスト法)」に基づく国等の取組状況も見ながら、平成19年度中を目途に導入の可能性等検討を進める。</p> <p>検討の視点 (略)</p>	<p>総務部</p>						